

令和4年度 第6回 帯広市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日時：令和5年1月20日（金）10時00分～10時45分
場所：帯広市役所10階 第6会議室
出席委員：和田会長、長沢委員、小森委員、道見委員、千葉委員、近藤委員（池田代理）、塚本委員、齊藤委員、酒井委員、久保委員、山田委員、大江委員、桐山委員、加藤委員、永田委員、佐藤委員、西島委員
（以上17名）
アドバイザー：北海道大学大学院 岸 邦宏 教授（オンライン出席）
調査受託事業者：一般社団法人北海道開発技術センター 吉田主任研究員（オンライン出席）、竹口研究員（オンライン出席）
事務局：篠原都市建築室長、岡田都市政策課長、涌井交通政策係長、千葉主査、屋仲主任、豊田主任、川筋主任補
配布資料：会議次第、出席者名簿（資料1）、帯広市地域公共交通計画 骨子案（資料2）、帯広市地域公共交通計画 現状・問題点・課題整理表（骨子案時点）（資料3）、中間報告及び計画の方向性に関する協議内容について（資料4）、帯広市地域公共交通計画策定調査 補足資料（資料5）、今後のスケジュールについて（資料6）、地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）（資料7）、モビリティ・マネジメント小冊子（案）（資料8）

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 事
 - (1) 協議事項
 - ・議案第1号 帯広市地域公共交通計画 骨子案について
 - ・議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について
 - (2) その他
 - ・モビリティ・マネジメント小冊子（案）について
- 4 閉 会

【会議概要】

3 議事

- (1) 協議事項
 - ・議案第1号 帯広市地域公共交通計画 骨子案について

《事務局より資料2、資料3及び資料4について説明》

(委員)

骨子案の「4 公共交通の現状と課題」の中で、新型コロナウイルスの影響による利用者減少、資材価格高騰、収支悪化に伴う自治体の補助負担増を指摘しているが、もうひとつ課題として、消費増税に伴う運賃の引き上げを除き、実質運賃の値上げはないという状況がある。本当にその状態が良いのか、適正な運賃を貫くという視点も重要ではないのかと思う。全道のバス会社の運賃と比較して十勝は運賃が安く、この点も考える必要があるのではないか。

(委員)

骨子案の「4 公共交通の現状と課題」について2点。

1点目は、「高齢者の運転免許返納者数の増加」とあるが、現実このようになっているのか。この増加というのは、安心して免許を返納できる街ということで良いことではないかと思う。

2点目は、「都市構造・施設が変化していく中、帯広駅バスターミナルを中心とするバス路線網には大きな変化がない」という現状に対する課題として「都市構造・施設のあり方に対応した公共交通網の構築」とあり、これに対応する「6 主な施策」のところを見ると、「交通事業者の相互協調・連携した運行効率化」とある。これは路線の再編、コンパクトに再編していくという方向性を示しているということか。もっと踏み込んだ記載の方が良いのではないか。

(事務局)

高齢者の運転免許返納者数の関係について、直近の数値は把握できなかったが、令和元年度までの数字として市内の運転免許返納者数の方が増加しているといったデータがあり、それを基に記載したもの。

次に、現状及び課題の「都市構造の変化」に関することと、施策の「交通事業者が相互協調・連携した運行効率化」の件について、施策としては大まかな記載ぶりとしているが、都市構造の変化やまちのあり方に対応した公共交通網を考えていくといったことも含んでいるが、骨子案において具体的な方向性が決まっているような形でお示しするのは時期尚早と判断し、このような表現としたもの。

(委員)

運賃値上げは認可事項であり、申請書類の作成から認可が下りるまで約1年とスピーディーな対応が出来ないため、協議運賃を視野に入れていけないものかと思う。よくコミュニティバスやデマンド交通などで交通会議において協議し決定している運賃があるが、一般路線での例は無い。時代の変化も速い中で、もう少しスピーディーに対応できるよう交通会議で運賃を決定できないものかと思っている。自治体の負担金が増えている要因として運賃収入の減もあるので、運賃値上げによって自治体の負担額を減らすことにも繋がることから、今後議論して行ってほしい。

(アドバイザー)

前回の議論で、例えば MaaS の目的地との連携とか具体的なところは今後少し入れていくということで、そこについてはよろしいかと思う。

改めてこの課題を見た時に一つ確認しておきたかったことは、道路管理者も委員としているが、例えば渋滞ポイントとか、バスの運行にとって道路構造的なところで改善すべきところがあるのであれば、それは「公共交通の利用につながる環境づくり」というところで何か入れておいた方が良くかと思う。それは、ちょうど今、帯広都市圏でパーソントリップ調査をやっているのだから、道路系の話などはそちらがメインで議論してもらい、そちらと上手く連携して、入れる余地があるのであれば入れた方が良くかと思う。

(会長)

意見のとおりパーソントリップ調査があるため、そうした視点も参考にさせていただきながら、次の素案に向けて整理したい。

それでは、骨子案について、本案のとおりとしてよろしいか。

《異議なし》

(会長)

異議なしということで、このとおりとしたい。

・議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

《事務局より資料7に基づき説明》

(会長)

質問、意見等あるか。

《意見等なし》

(会長)

それでは、事業評価について本案のとおりとしたい。

(2) その他

・モビリティ・マネジメント小冊子(案)について

《事務局より資料8について説明》

(委員)

これはどこで配布されているのか。

(事務局)

中高生向けの小冊子は、来年から高校通学する市内の中学3年生の生徒と、市内の高校1・2年生の学生に配布している。

転入者向けは、市役所の戸籍住民課から転入者に向けて配布している案内書類一式と併せて配布している。

高齢者向けは、高齢者おでかけサポートバス事業において、利用者が無料バス乗車証の作成する時に配布するほか、社会福祉協議会を通じて地域交流サロンなどで配布している。

(会長)

最後に、事務局から事務連絡がある。

(事務局)

次回の協議会は、2月20日(月)に計画素案に関する協議を予定している。

(会長)

それでは、以上をもって第6回協議会を終了する。

《閉 会》